

安川電機 (6506)

2014年度第2四半期決算説明会

(対象期間: 2014年3月21日～2014年9月20日)

代表取締役会長兼社長 津田 純嗣

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 2014年度上期実績

- ・ 2014年度上期実績
- ・ 事業セグメント別売上高構成比(13年度上期 ⇒14年度上期)
- ・ 仕向先別売上高／売上高構成比(13年度上期 ⇒14年度上期)
- ・ 営業利益増減要因分析(13年度上期⇒14年度上期)

2. 2014年度下期および通期見通し

- ・ 2014年度通期連結業績見通し
- ・ 営業利益増減要因分析(13年度 ⇒14年度計画)
- ・ 2014年度における取り組み

3. 参考資料

- ・ 設備投資、研究開発費、為替状況(2012年度～2014年度計画)
- ・ 連結売上高・営業利益推移(2003年度～2015年度計画)
- ・ B/S構造の推移
- ・ 四半期連結売上高推移
- ・ アジア地域における取り組み
- ・ 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール:(M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブシステム

ロボット:(R)

【主要製品】

- ・産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット、新世代ロボット、ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル分野向けロボット など



レーザー切断・溶接対応
高精度軌跡ロボット



分析前処理
ロボットシステム



パラレルリンクロボット

システムエンジニアリング:(S)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型・小形風力用発電機 など



上下水道用電機システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など



ハイパワーレーザー対応スキャナヘッド



ワイヤレスM2Mサービス
(通信アダプタ)

1. 2014年度上期実績

2014年度上期実績(概要)

- 好調な(M)(R)が牽引し、上期目標を達成
- 上期売上高・純利益ともに過去最高

	<u>14年度上期</u>	14年度上期 計画	計画比	13年度上期	<u>前年同期比</u>	
	<u>実績</u>				<u>増減額</u>	<u>増減率</u>
売上高	<u>1,939億円</u>	1,900億円	+39億円	1,772億円	<u>168億円</u>	<u>+9.5%</u>
営業利益	<u>149億円</u>	130億円	+19億円	126億円	<u>23億円</u>	<u>+18.1%</u>
経常利益	<u>156億円</u>	130億円	+26億円	134億円	<u>22億円</u>	<u>+16.7%</u>
四半期純利益	<u>117億円</u>	80億円	+37億円	73億円	<u>44億円</u>	<u>+61.1%</u>

(注) 1. 表内「14年度上期計画」は、2014年7月17日1Q決算発表時点の計画数値
 2. 表記：(M)=モーションコントロール、(R)=ロボット

2014年度上期実績(セグメント別)

・(M)(R)は、売上・営業利益とも過去最高

(単位:億円、%)

	14/上期		14/上期		計画比	13/上期		前年同期比	
	実績	利益率	計画	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	1,939	-	1,900	-	+39	1,772	-	+168	+9.5%
(M) モーションコントロール	907	-	895	-	+12	823	-	+84	+10.2%
(R) ロボット	672	-	650	-	+22	586	-	+86	+14.6%
(S) システムエンジニアリング	155	-	150	-	+5	162	-	▲7	▲4.2%
その他	205	-	205	-	-	200	-	+4	+2.2%
営業利益	149	7.7%	130	6.8%	+19	126	7.1%	+23	+18.1%
(M) モーションコントロール	105	11.5%	98	10.9%	+7	85	10.4%	+19	+22.6%
(R) ロボット	58	8.6%	52	7.9%	+6	48	8.2%	+9	+19.3%
(S) システムエンジニアリング	▲12	-	▲13	-	+1	▲4	-	▲8	-
その他	4	2.2%	1	0.2%	+3	3	1.6%	+1	+40.7%
全社・消去	▲5	-	▲7	-	+2	▲6	-	+1	-
経常利益	156	8.1%	130	6.8%	+26	134	7.6%	+22	+16.7%
四半期純利益	117	6.0%	80	4.2%	+37	73	4.1%	+44	+61.1%

(注) 表内「14/上期計画」は、2014年7月17日1Q決算発表時点の計画数値

2014年度上期実績(セグメント別)

(M):

- ・ACサーボはスマートフォン・タブレット、自動車関連向けを中心に、国内外ともに好調。中国の増産効果も寄与。
- ・汎用インバータは堅調。
一方、太陽光パワコンは好調だった前年同期に比べ低調

(R):

- ・中国を中心に自動車向けが牽引し、国内外ともに好調

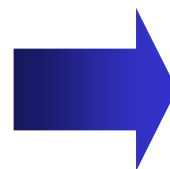
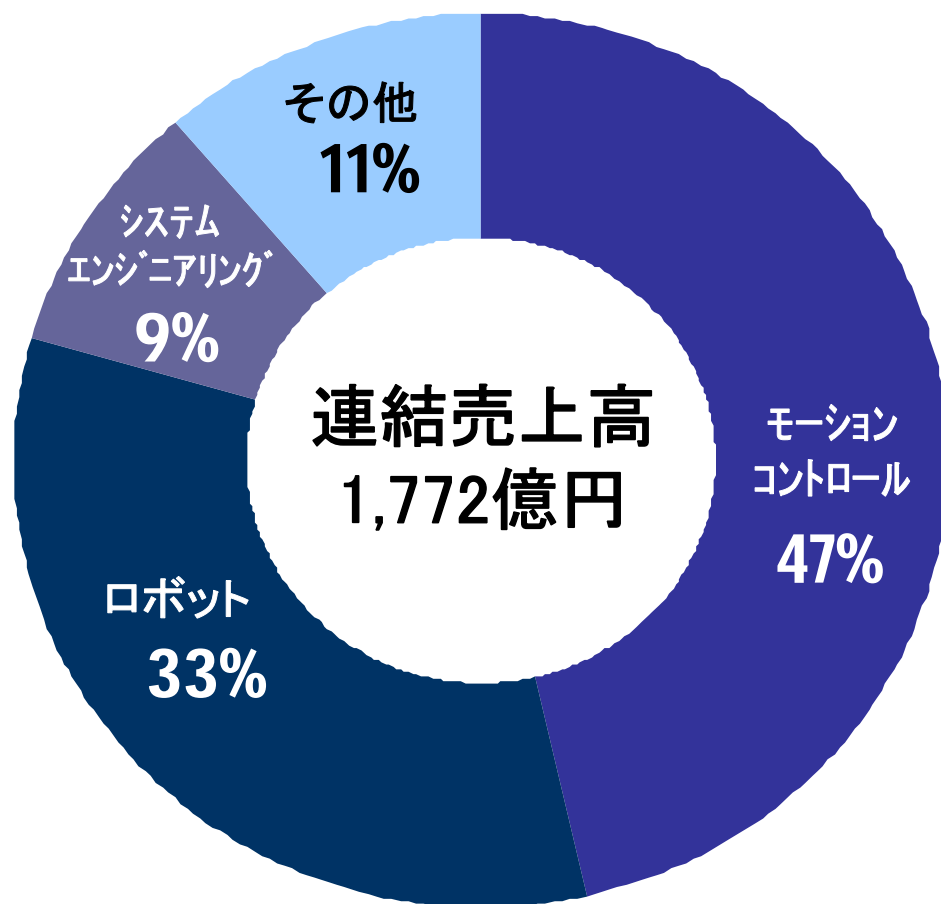
(S):

- ・主力の鉄鋼プラント向けおよび水処理関連ともに低調

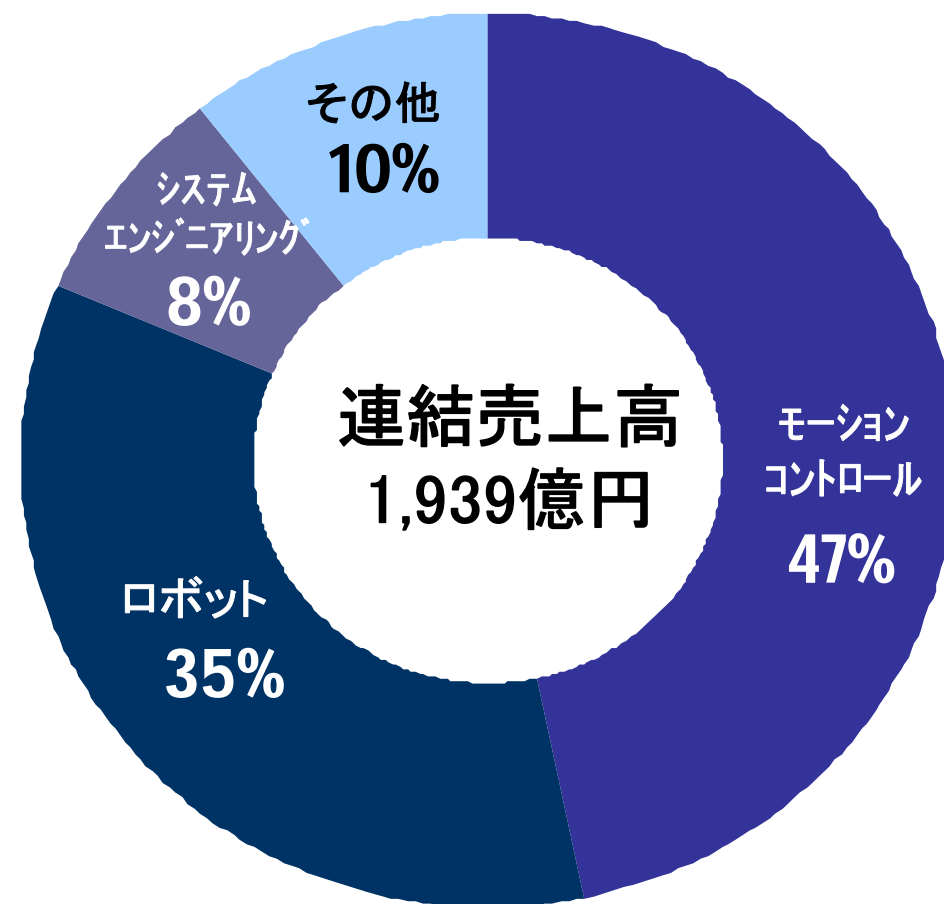
〔注〕表記(M)＝モーションコントロール、(R)＝ロボット、(S)＝システムエンジニアリング

事業セグメント別売上高構成比

13年度上期



14年度上期



• 中国・アジアを中心に海外売上が前年同期比で伸張

(単位:億円、%)

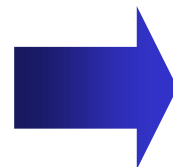
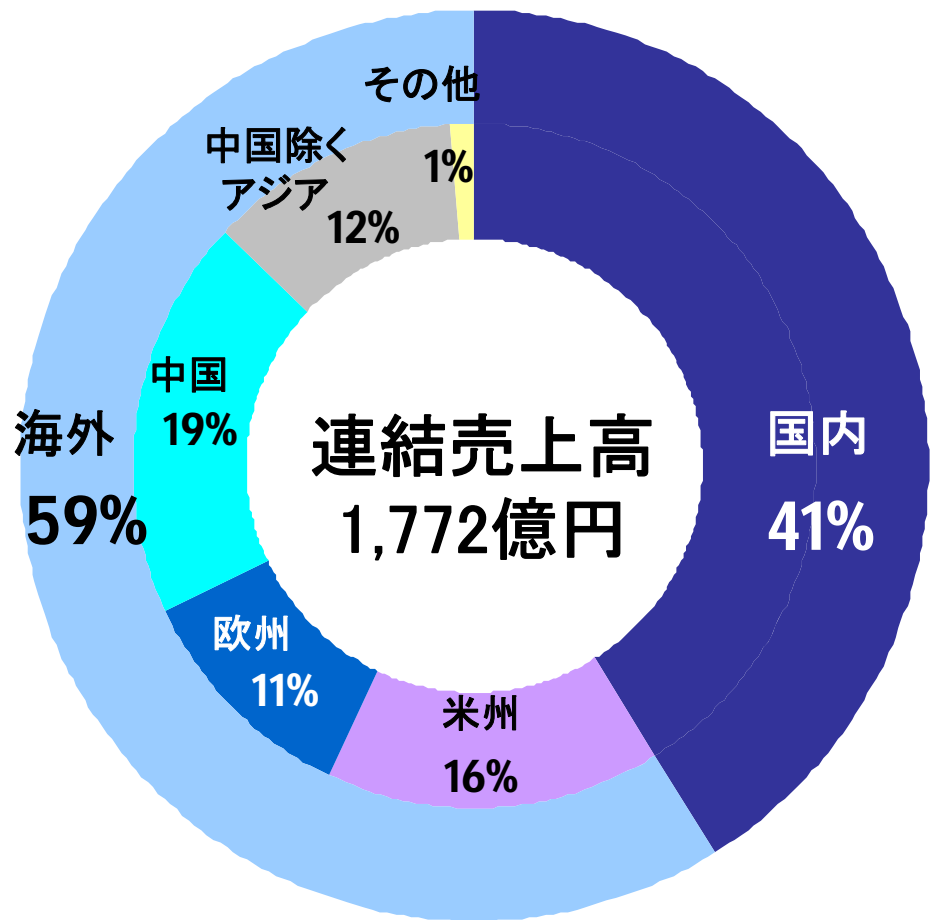
	14年度 上期	13年度 上期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,939	1,772	+167	+9.5%
国内	727	720	+8	+1.1%
海外	1,212	1,052	+160	+15.2%
米 州	320	290	+29	+10.1%
欧 州	218	203	+16	+7.7%
中 国	418	337	+81	+23.9%
中国除くアジア	237	203	+34	+16.7%
その他	19	18	+1	+3.0%

(注) その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含みます。

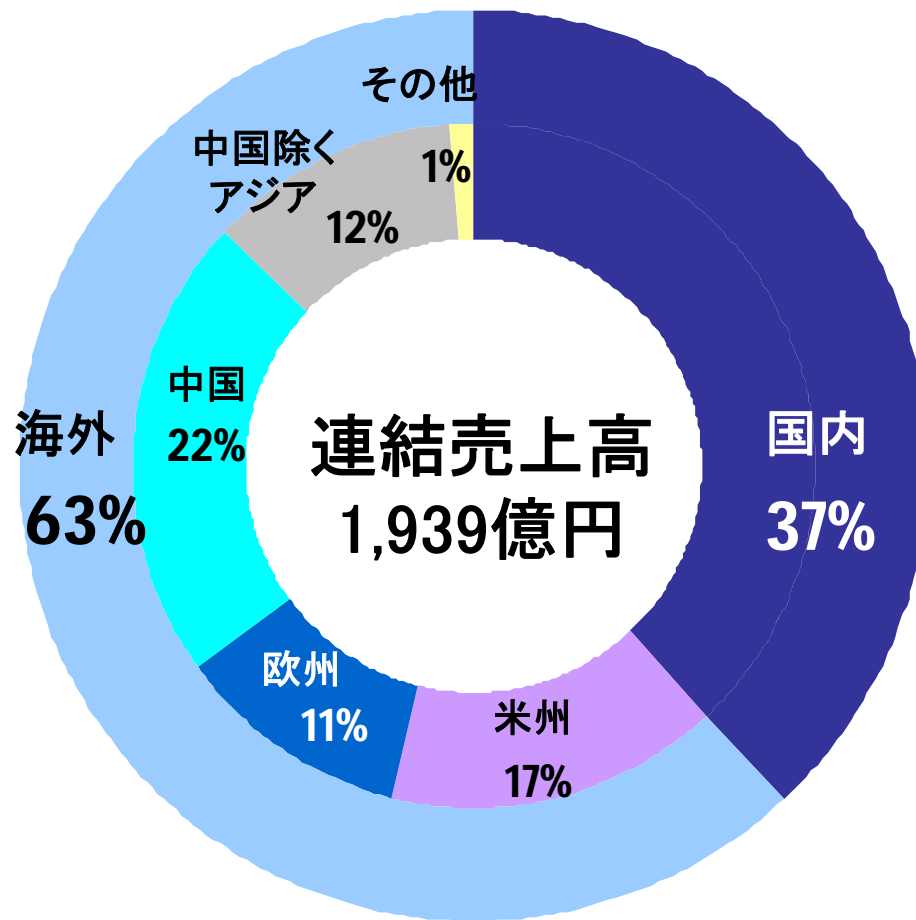
仕向先別売上高構成比

- 半期過去最高の海外売上高比率を達成

13年度上期

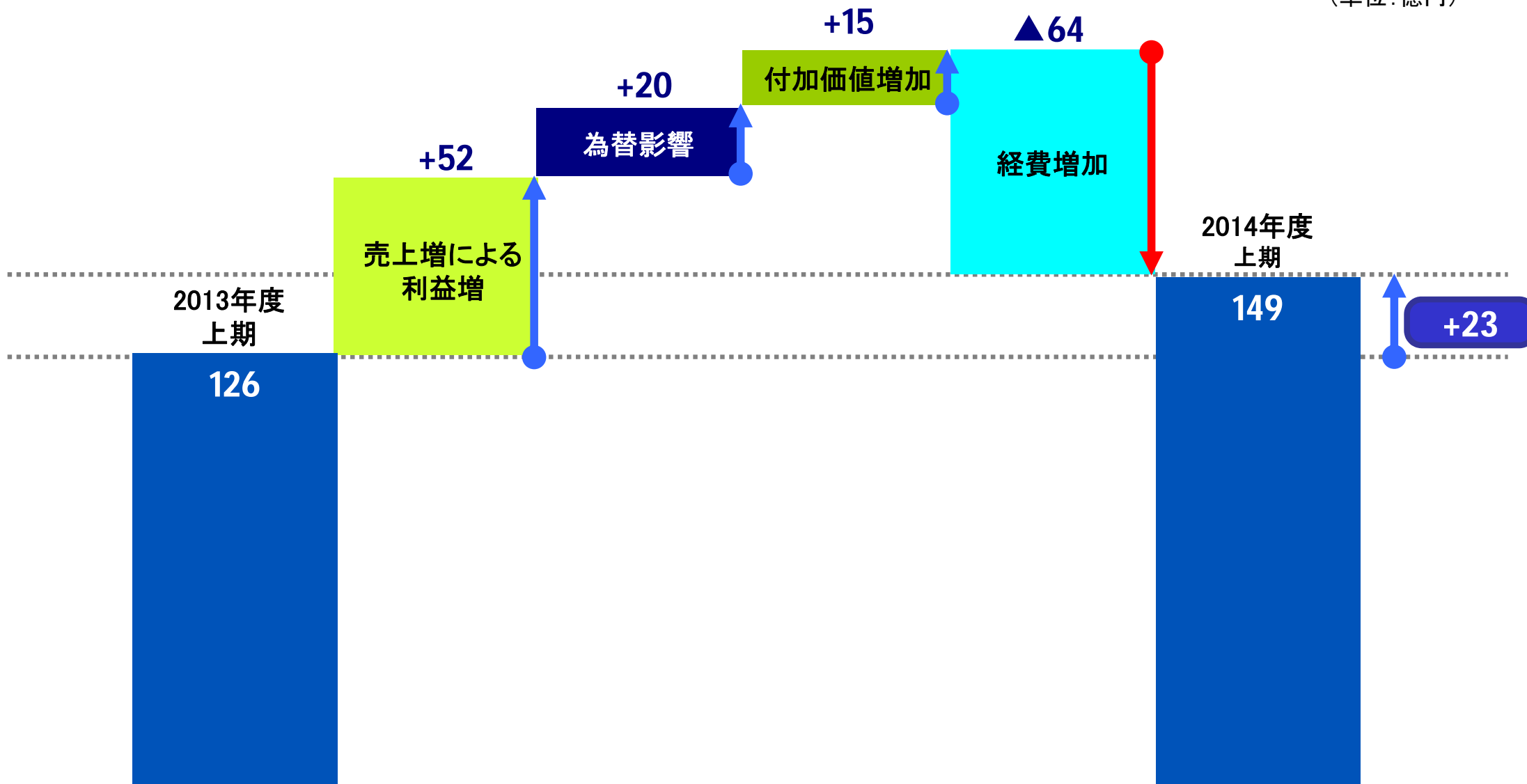


14年度上期



営業利益増減要因分析(13年度上期⇒14年度上期)

(単位:億円)



2. 2014年度下期および通期見通し

2014年度通期見通し(概要)

- 好調な主力事業、円安基調を背景に、通期計画を上方修正
- 売上高・当期純利益ともに過去最高を計画

	14／通期 今回計画	14／通期 前回計画	前回計画比 増減額	13／通期	前年度比	
					増減額	増減率
売上高	3,950億円	3,800億円	+150億円	3,636億円	+314億円	+8.6%
営業利益	300億円	275億円	+25億円	257億円	+43億円	+16.7%
経常利益	310億円	280億円	+30億円	271億円	+39億円	+14.5%
当期純利益	225億円	175億円	+50億円	170億円	+55億円	+32.6%

(注) 表内「14/通期前回計画」は、2014年4月21日 本決算発表時点の計画数値

2014年度通期見通し(セグメント別)

- 好調な(M)(R)が牽引し、増収増益
- 円安基調に加え、海外生産・調達拡大により質を改善

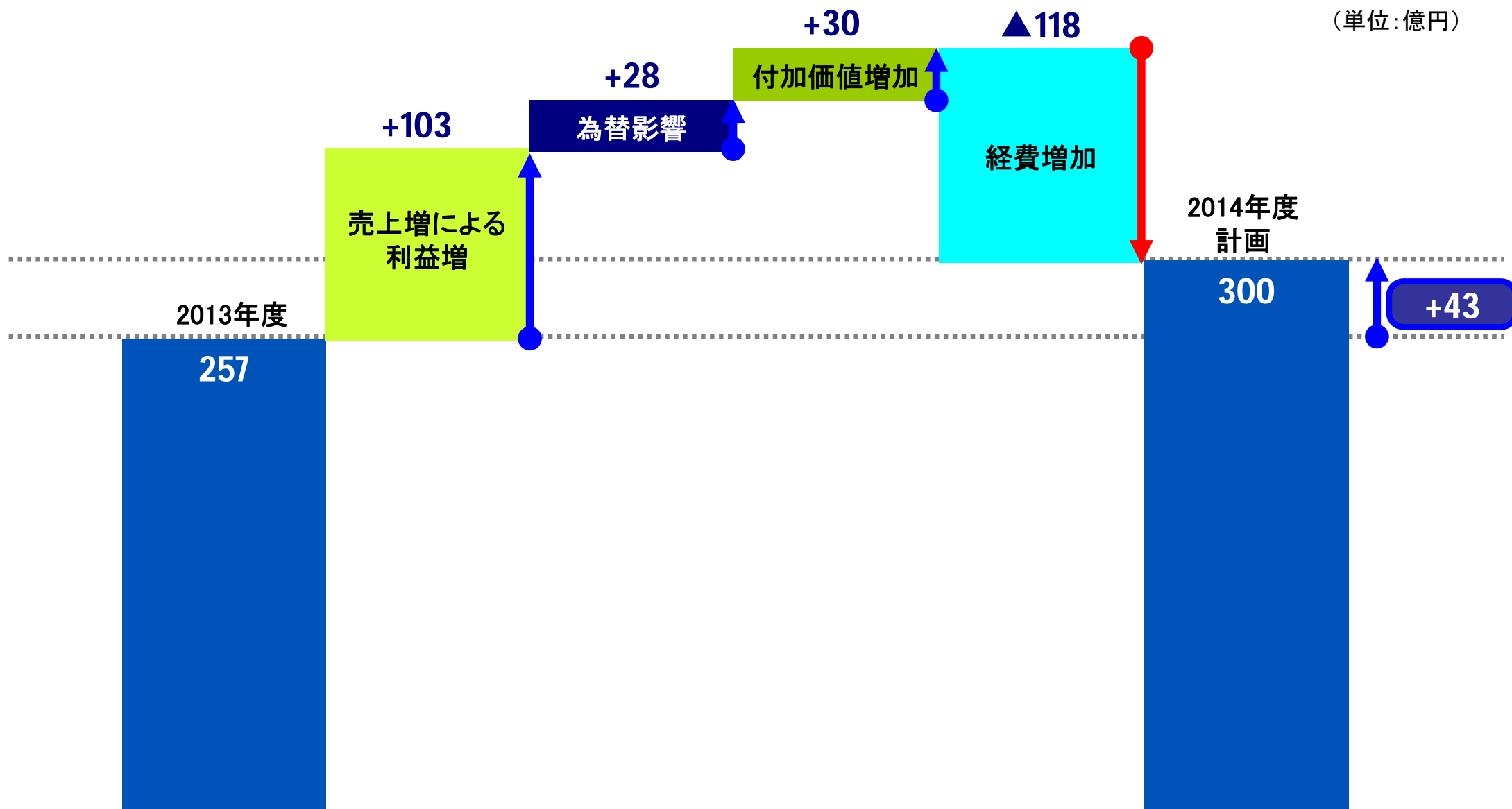
(単位: 億円、%)

	14/通期		14/通期		前回計画比 (増減額)	13/通期		前年度比	
	今回計画	利益率	前回計画	利益率		利益率	増減額	増減率	
売上高	3,950	-	3,800	-	+150	3,636	-	+314	+8.6%
(M) モーションコントロール	1,850	-	1,735	-	+115	1,623	-	+227	+14.0%
(R) ロボット	1,350	-	1,315	-	+35	1,225	-	+125	+10.2%
(S) システムエンジニアリング	395	-	350	-	+45	353	-	+42	+11.8%
その他	355	-	400	-	▲45	434	-	▲79	▲18.2%
営業利益	300	7.6%	275	7.2%	+25	257	7.1%	+43	+16.7%
(M) モーションコントロール	206	11.1%	172	9.9%	+34	164	10.1%	+42	+25.3%
(R) ロボット	113	8.4%	113	8.6%	+0	95	7.8%	+18	+18.9%
(S) システムエンジニアリング	▲12	-	▲2	-	▲10	▲0	-	▲12	-
その他	7	1.8%	6	1.4%	+1	11	2.6%	▲5	▲41.2%
全社・消去	▲14	-	▲14	-	▲0	▲13	-	▲0	-
経常利益	310	7.8%	280	7.4%	+30	271	7.4%	+39	+14.5%
当期純利益	225	5.7%	175	4.6%	+50	170	4.7%	+55	+32.6%

(注) 表内「14/通期前回計画」は、2014年4月21日本決算発表時点の計画数値

営業利益増減要因分析(2013年度⇒2014年度計画)

(単位:億円)



2014年度における取り組み ①

1) コア事業の受注拡大

- ・ 販売網・販売体制の強化
 - ⇒ 中国を中心にグローバルでのローカル開発の強化
 - ⇒ グローバル開発人員400人体制の構築(15年度末)
- ・ パートナー企業との連携強化
 - ⇒ VIPA社とのシナジー効果の最大化
 - ⇒ カイエルダ社との連携強化
- ・ ロボットの非自動車分野への適用拡大
 - ⇒ ロボットセンタ (SI拠点) の展開加速
 - ・ 中部ロボットセンタの設置(15年4月稼動予定)
- ・ 新製品 (差別化製品) 拡販によるシェア拡大
 - ⇒ ACサーボΣ-7の拡販加速(中国販売を開始(9月~))
 - ⇒ マトリクスコンバータ U1000の市場投入



VIPA社



中部ロボットセンタ
完成予想図



新型マトリクスコンバータ
U1000

2) 生産力・販売力・開発力の強化による高収益体質の実現

- ・ 国内生産の自動化による質の改善
 - ⇒ Σ -7 生産ラインの大幅自動化
(自動化率70% (従来機種) ⇒ 90%実現)
 - ⇒ インバータ次世代生産自動化ラインの導入
- ・ 中国における需要地生産の加速
 - ⇒ ACサーボ Σ -7 の中国 (瀋陽) 生産・出荷開始 (14年9月～)
 - ⇒ ロボット常州工場における増産および生産機種の拡大
- ・ K30活動プログラムの定着とグローバル展開の加速



安川電機(瀋陽)有限公司



Σ -7 シリーズ

2014年度における取り組み③

3) 環境・エネルギー分野の事業拡大

- ・ 太陽光発電用パワコンの売上拡大
 - ⇒ 主力製品PV1000をフルモデルチェンジ
 - ⇒ 家庭用市場へ差別化製品 (GaN) を投入 (14年下期)
 - ⇒ Solectria Renewables, LLC (米国) とのシナジー創出による米国太陽光発電事業の拡大加速
- ・ 大形風力発電用電機品の事業化加速
 - ⇒ The Switch Engineering Oy とのシナジー最大化 (船舶市場も視野に入れた事業領域の拡大)



Enewell-SOL 10kW/9.9kW



Solectria Renewables, LLC (製品群)



The Switch Engineering Oy

4) ヒューマンアシスト分野の本格事業展開

- ・ バイオメディカル市場向けロボットの事業拡大
 - ⇒ 事業統括部の設置 (14年度4月) と事業化加速
- ・ 医療・介護・福祉事業化推進
 - ⇒ ReWalk Robotics社 (旧Argo社) との協業加速 (米国ナスダックでIPO実施 (14年9月))
 - ⇒ 下肢用リハビリ装置「LR2」の中国医療機器認証の取得の推進



MOTOMAN-BMDA3



ReWalk

参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況(連結)

(億円)

	2012年度	2013年度	2014年度計画
設備投資額	158.9	169.8	310.0
減価償却費	81.1	92.2	110.0

◆研究開発投資の状況(連結)

(億円)

	2012年度	2013年度	2014年度計画
研究開発投資	107.3	140.3	150.0

◆為替状況(連結)

(円)

	2012年度			2013年度			2014年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期実績	下期(想定)	通期(想定)
対 米ドル	80.1	83.7	81.9	98.2	101.0	99.6	102.2	105.0	103.6
対 ユーロ	102.0	109.4	105.7	128.5	136.9	132.7	139.4	135.0	137.2

(注)期中平均レート

B/S構造の推移

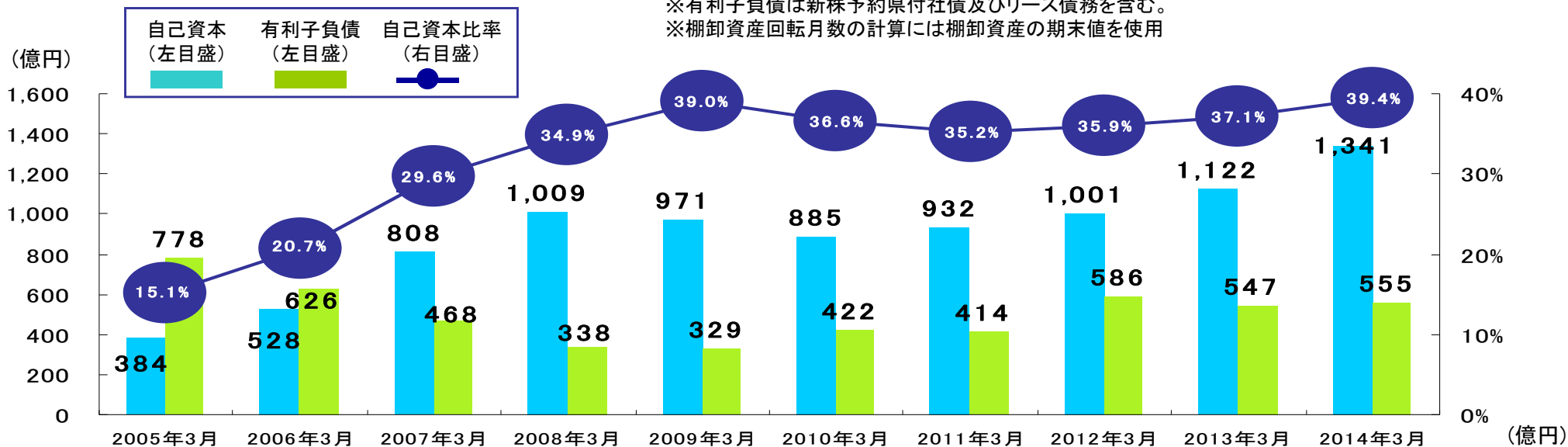
2014年3月20日時点

- 自己資本比率 39.4%
- 自己資本 1,341億円
- 有利子負債 555億円
- D/Eレシオ 0.41
(ネットD/Eレシオ) 0.24
- 棚卸資産 784億円
(回転月数) (2.6ヶ月)

2014年9月20日時点

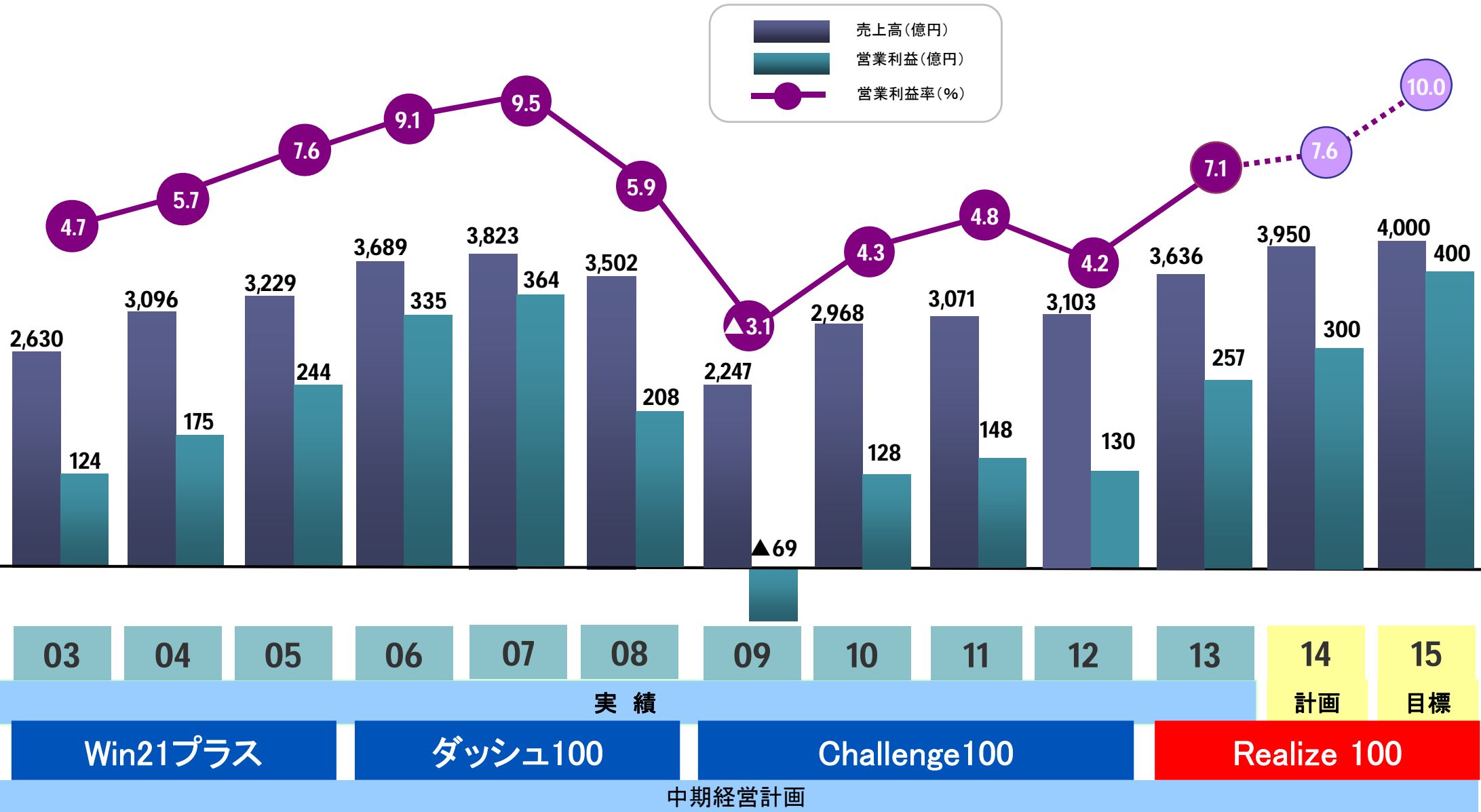
- 自己資本比率 42.0%
- 自己資本 1,497億円
- 有利子負債 572億円
- D/Eレシオ 0.38
(ネットD/Eレシオ) 0.22
- 棚卸資産 808億円
(回転月数) (2.5ヶ月)

※有利子負債は新株予約権付社債及びリース債務を含む。
※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用

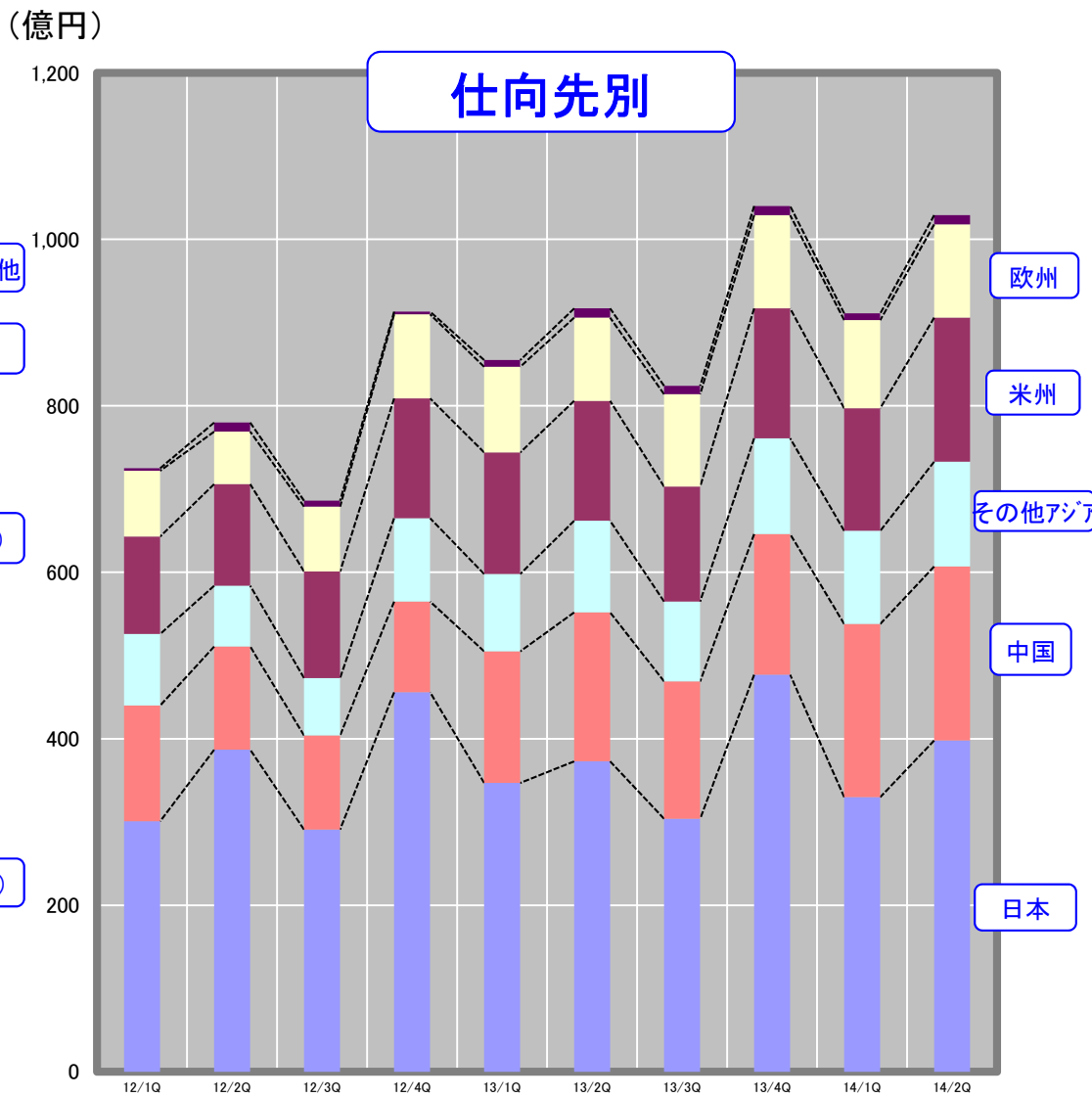
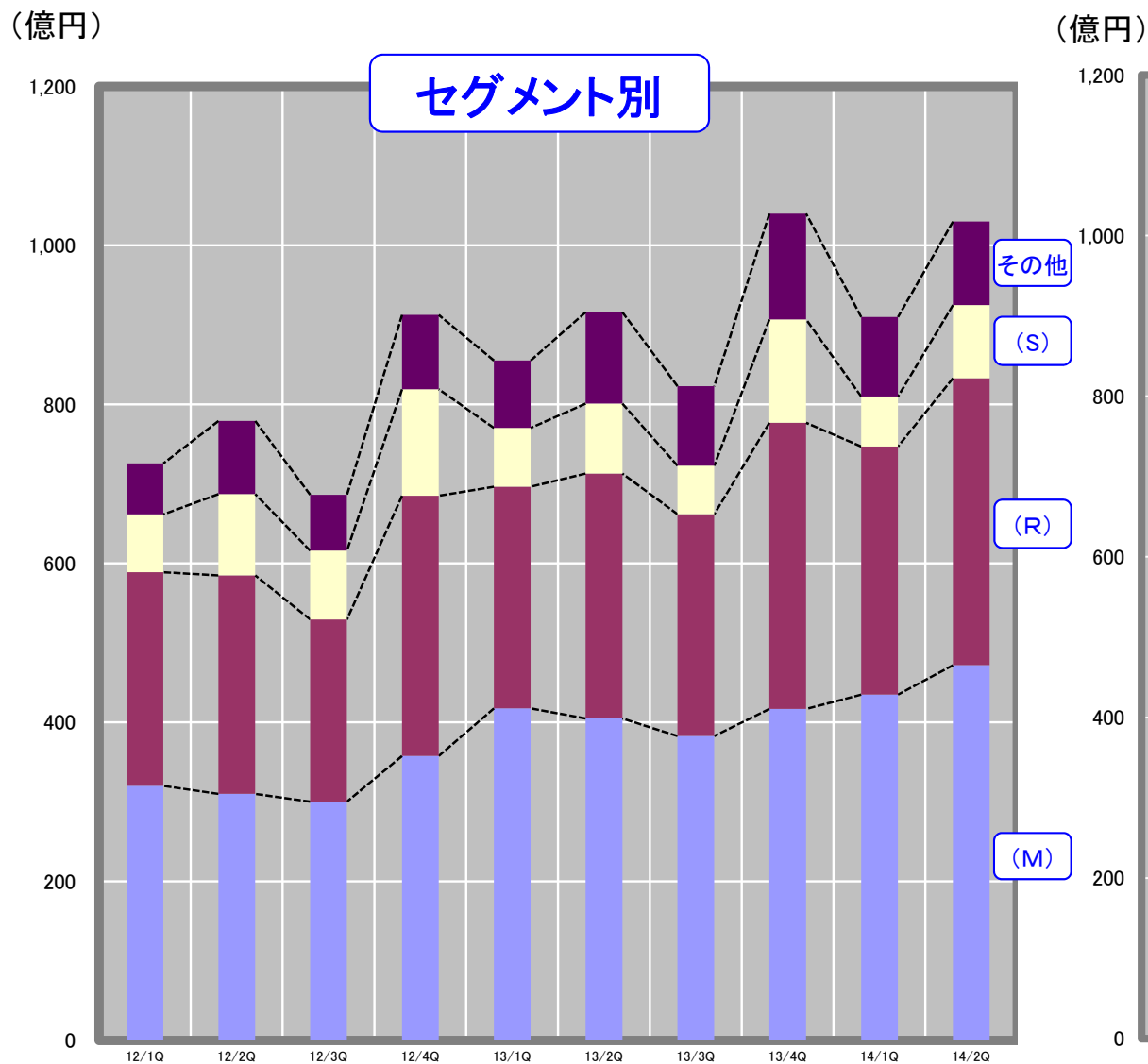


営業CF	58	187	150	177	125	40	25	64	246	241
投資CF	▲22	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181	▲170
フリーCF	35	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66	70

連結売上高・営業利益推移(2003年度～2015年度目標)

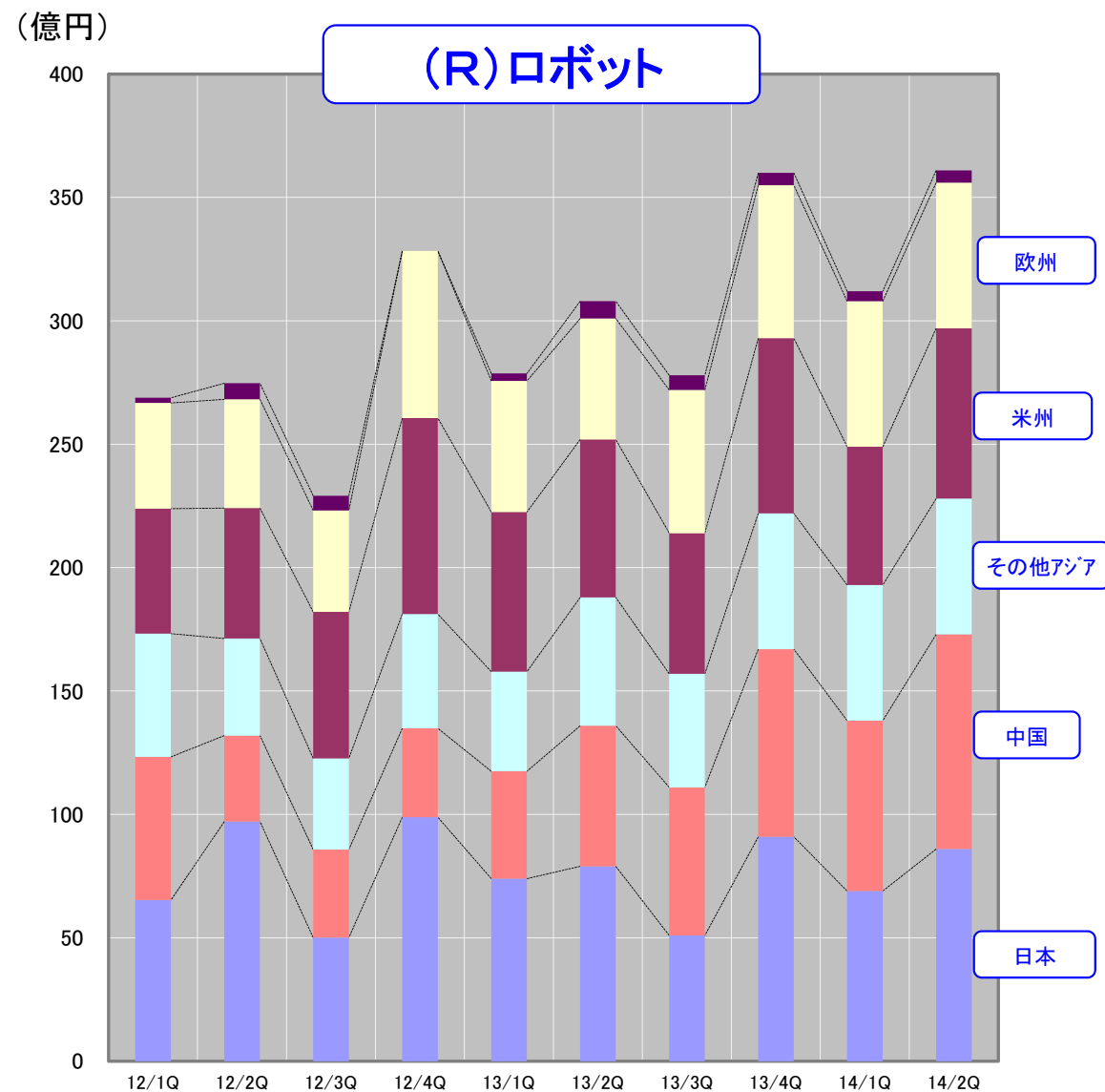
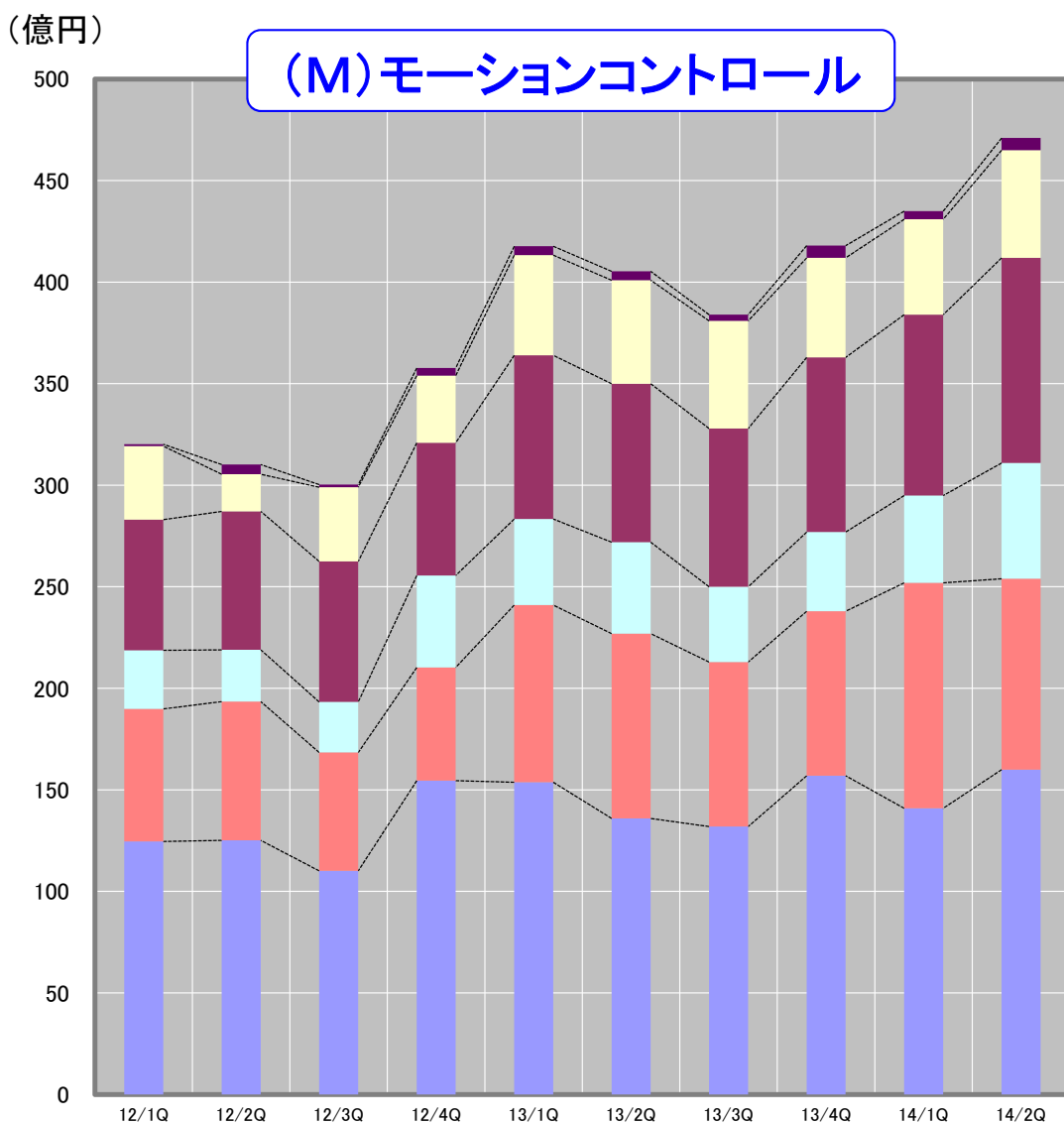


四半期連結売上高推移



(注) 1. 表記: (M) = モーションコントロール (R) = ロボット (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移



主要生産拠点



- 安川電機 国内生産拠点
- 海外主要生産拠点

本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。